

PIM(Product Information Management)がわかる

# 商品情報管理システム 入門書



# 目次

<b>1</b>	<b>PIMとは</b> .....	p3
<b>2</b>	<b>PIMが普及している背景</b> .....	p4
<b>3</b>	<b>現場で起きている悩み</b> .....	p5
<b>4</b>	<b>PIMにより解決できること</b> .....	p6
<b>5</b>	<b>導入事例</b> .....	p11
<b>6</b>	<b>会社概要</b> .....	p13

**Product Information Management (PIM) は、商品に関するあらゆる情報を一元的に管理し、効率的に活用するためのシステムです。**

PIMを活用することで利用者が得られる効果は7つにまとめることができます。

## 1.業務効率化

情報の一元管理により、検索や更新が迅速に行え、従業員の作業時間を削減

## 2.データ品質向上

情報の一貫性が確保され、ミスや重複が減少

## 3.市場投入時間の短縮

新商品の立ち上げやプロモーション活動の効率化

## 4.顧客体験の向上

正確で最新の商品情報を提供し、オムニチャネル戦略を強化

## 5.コスト削減

情報管理の効率化により、運用コストを低減

## 6.収益増加

強化された顧客体験とオムニチャネル戦略により、売上向上が期待できる

## 7.データ活用の促進

商品情報の効率的な管理により、マーケティングや意思決定に活用可能



PIMが普及している背景には、商品の多様化に加えて、いくつかの重要な要因が挙げられます。まず、インターネットビジネスの中心化に伴い、商品データを活用したマーケティング戦略の重要性が高まってきました。さらに、スマートフォンやSNSの普及により、複数の販売チャネルを駆使する必要性が増し、市場ニーズの変化、技術革新のスピード向上、競争の激化、グローバル化などによって、製品が市場に導入されてから衰退するまでの期間が年々短縮しています。

加えて、商品情報が日々増加し、複雑化する中で、効率的な管理システムが求められています。PIMの導入により、新商品の製造から市場投入までのプロセスが迅速化されるとともに、グローバル化に対応した多言語や他通貨での商品情報提供の需要にも対応可能となります。さらに、正確で一貫性のある商品情報をリアルタイムで提供することで、顧客満足度の向上が図られます。これらの背景から、PIMは企業の商品情報管理の効率化を実現し、同時に顧客満足度の向上を目指す解決策として、ますます普及しているのです。

**人的工数だけでは対応しきれない膨大な商品量処理し、複数のチャネルで一貫性を持たせる必要がある**



## 情報の分散

商品情報が複数のシステムやデータベースに分かれているため、情報を集約するだけで一苦労だ・・・



## 情報ソースの不一致

部署や担当者によって利用する情報ソースが異なるため、正確性にバラツキが発生している・・・



## マスタ情報の管理不足

製品に関する基本的な情報が虫食い状態で抜け落ちているため、商品比較をしたくても出来ない・・・



## 修正コストの発生

商品情報の変更が全てのチャネルやシステムに反映されないため、修正にかかるコストが大きい・・・



## ①データ統合管理

商品に関するあらゆる情報を一元管理し、**整理・統合・最適化**することができます。それにより複数のシステムや部門に分散しているデータを統一し、**一貫性のある情報を管理・提供**できるようになります。



## ②様々なチャネルで配信

商品情報をWebサイト、ECサイト、カタログ、アプリなど**複数の販売・マーケティングチャネルへ効率的に配信**することができます。これにより、各チャネルごとに情報を**手動で入力・更新する手間が省け**、一貫性のあるデータを迅速に提供できます。



## ③多言語対応

異なる言語での商品情報を一元管理し、**各国の市場や販売チャネルに適した形で配信**することができます。これにより、企業はグローバル市場への展開をスムーズに進めることができ、各国のECサイトやカタログ、マーケットプレイスに最適化された情報を提供できます。



## 1. 基本情報

商品名（正式名称・略称・異なる市場向けの名称）／商品コード（JANコード、SKU、メーカーコードなど）／カテゴリ情報（商品分類、用途別タグ付け）



## 2. 販売・価格情報

定価・販売価格（市場や販売チャネルごとの価格設定）／割引・キャンペーン価格（期間限定価格、会員価格など）／通貨対応（国ごとの価格設定、多通貨管理）



## 3. 商品説明

短縮説明文（ECサイトやカタログ向けの簡潔な説明）／詳細説明（スペックや特徴を詳しく記載）／キャッチコピー（マーケティング向けのアピールポイント）／翻訳データ（多言語対応）



## 4. 仕様・技術情報

サイズ・重量（長さ、幅、高さ、重さなど）  
材質・成分（原材料、製造素材、アレルギー情報）  
性能・動作条件（対応電圧、推奨使用環境、耐久性など）



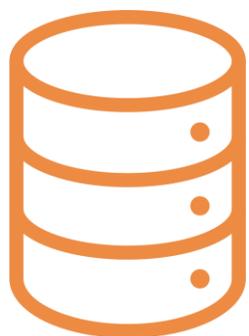
## 5. メディア情報

商品画像（正面・側面・裏面・使用イメージ）  
動画（プロモーション、使い方解説、360度ビュー）  
PDF資料（マニュアル、スペックシート、カタログ）



## 6. 在庫・物流データ

在庫状況（リアルタイムの在庫数、倉庫別の在庫）  
納期情報（発送日数、予約受付状況）  
バーコード・RFID情報（物流・管理システムとの連携）



PIM



### 1. ECサイト

自社ECサイト (Shopify、Magento、EC-CUBE など) / マーケットプレイス (Amazon、楽天市場、Yahoo!ショッピング、eBayなど) / D2C (Direct to Consumer) / サイト (ブランド直販サイト)

### 2. Webサイト (公式サイト・ブランドサイト)

企業の商品紹介ページや製品カタログページ / 商品仕様やFAQページ

### 3. カタログ・チラシ

紙のカタログ (PDF版含む) / 販促用チラシ / 取引先向けの製品資料

### 4. POSシステム (店舗販売システム)

実店舗のPOSレジシステムと連携し、最新の商品情報を即座に反映 在庫管理システムと接続し、店頭・ECの在庫を統合管理



### 1.複数言語の情報を一元管理

1つの商品に対して、複数の言語バージョンを一括管理できる。

言語ごとに個別のデータを持つのではなく、PIM内で統合して管理することで、翻訳作業の効率化や一貫性のある情報提供が可能。



### 2.ローカライズ (現地市場に適した情報調整)

各言語ごとに単なる翻訳ではなく、地域ごとに適した表現や文化的な調整が可能。



### 3.通貨・単位の対応

価格設定の多通貨対応 (USD、EUR、JPY、CNYなど)  
長さ・重さ・温度の単位変換 (cm ⇄ inch、kg ⇄ lbs、°C ⇄ °F など)  
規格・表記の違い (EU規格、US規格、JIS規格 など)



### 4.自動翻訳・ 翻訳管理機能

機械翻訳との連携 (Google翻訳、DeepL、翻訳APIなど) により、多言語データの作成を効率化。

人手による翻訳の管理機能を備え、マーケティングチームや翻訳者と連携しながら編集可能。バージョン管理により、各言語ごとの更新履歴を追跡し、最新版を維持できる。

データ統合管理



だれでも**正しい情報を入手**することができる

様々なチャネルで配信



**商品情報の確認や更新ミスを防ぐ**ことができる

多言語対応



多言語データの統合管理・自動翻訳・ローカライズ・通貨・単位対応などの機能を活用し、**国際的な販売戦略を強化**できる



## 情報検索と更新作業の大幅効率化で、常に最新情報を共有！

### 導入前の課題

- 部品情報を複数の担当者がExcelで管理していたが属人的になっていた
- 設計変更や部品の仕様変更があった際に最新の情報が反映されるまでに時間がかかっていた

### 某製造メーカーさま

**業種** 工具保持具や精密測定機器、などを開発・製造・販売する企業

**導入商材** KOKONIDAS (PIM)

### 選定理由

- 当社の業務を深く理解しようとする姿勢、丁寧な説明が決め手
- サービス導入後のサポート体制の手厚さも魅力を感じた

### 導入後の成果

- 必要な情報をすぐに検索でき、更新作業も簡単に行えるように！
- 常に正しい情報が従業員同士・顧客に伝わるようになった

# お問い合わせ

PIMに関するご質問やご相談は、  
お電話やメールにてお気軽にご連絡ください。

お電話でのお問い合わせは、  
下記番号よりお願いします。

03-5875-8041

メールでのお問い合わせは、  
下記メールアドレスよりお願いします。

kokonidas\_sales@akagane.co.jp



企業名	株式会社 あかがね
所在地	〒590-0018 大阪府堺市堺区今池町1-1-58
代表者	今西 理宏
事業内容	大量商品情報に関するマネジメントの トータルソリューション提供
サイトURL	<a href="https://akagane.co.jp">https://akagane.co.jp</a>